

厚生労働省 移植医療対策推進室殿

2018 年 3 月 22 日

公益社団法人日本臓器移植ネットワーク PMO

情報システム作業班によるヒアリング結果への対応について

情報システム作業班によるヒアリング結果、検討や改善が求められた事項についての JOT としての対応方針を報告します。

1. IT ガバナンスの強化について

1) PMO の運営

引き続き PMO による IT ガバナンス下でのシステム開発・運用を推進します。

また、平成 30 年度には、PMO 室長補佐を 1 名増員し、更なる情報システム部門の体制強化を図ります。

2) 情報セキュリティ対策

システム開発委託先への情報セキュリティ方針説明会を実施します。また、情報セキュリティ対策に関して、システム利用者（移植施設、検査施設）との合意について検討します。

なお、移植施設及び検査施設への情報セキュリティ関連のアンケートを実施しました。その結果を踏まえて、移植施設及び検査施設に情報セキュリティ対策の強化を依頼します。

2. EVAS に関する検証

1) 待機期間について

今後のレシピエント選択基準改正時に、現在システムで採用されているあっせん順位算出基準を明文化し、関係者（厚生労働省、学会等）と協議のうえ、システムで採用する基準を検討します。

今後のシステム改修時の検証作業について、事前に想定するテスト結果を記載した検証手順書を作成します。

2) 新規の患者登録処理について

レシピエント検索の処理途中でレシピエントに関するデータが変更されても、データに不整合が発生しないようにデータベースのトランザクション管理を行っていることを確認しました。また、あっせんに使用するデータは臓器提供承諾時点のもので、最新のデータ登録・更新の情報を利用しないので、間違ったあっせんに繋がることはありません。

なお、医療機関から届いた申請については、登録処理に時間がかかった場合でも、あっせんに関係する場合には優先的に作業を実施していますが、必要により医療機関への通知を検討します。

3) レシピエント選択基準のシステム実装について

今後のレシピエント選択基準改正時に、システム化を前提とした選択基準になるよう関係者（厚生労働省、学会等）協議し、システムで採用する基準を確認します。

3. 腎臓レシピエント選択基準改正に伴うシステム改修について

システム改修を行う際のテストパターンについて、合理的な説明がつくように再検討しました。その結果を踏まえ、待機期間改修の追加テストを実施しました。（下記参照）

参考資料1 レシピエント選択のテストパターン見直しについて

参考資料2 待機期間の扱いに関する検証作業について（結果報告）

4. 中長期的課題

入金タイムラグ等、業務上の扱いに関する留意点をまとめます。また、継続的にシステムの改善を検討していきます。

引き続き、PMOによりこれらの課題を解決していくとともに、更なるシステム環境の改善に取り組みます。

以上